

いつまでも好きなことで働くシルバー会員



▲見事に剪定した黒木をバックに！

樹木の剪定は心の剪定

黒木や松の剪定依頼を受けて、剪定ばさみを腰に、颯爽と就業に向かう剪定班は、就業が終えた後もとてもいきいきと輝いて見えます。

樹木は生きており、水や栄養分を与え、手をかけた分、その成果が出るのだそうです。

シルバーの会員さんは、樹木の一本一本に心を込めて剪定に臨んでいます。就業を終えた後のお宅からは、次の就業予約があります。

剪定班には、教員を退職されたから樹木医の資格を取得された方や趣味が高じて庭づくりの資格を取られた方もいます。玉城にお住まいの金城さんの

樹木の剪定は心の剪定

シルバー人材センター

南城市



▲松の葉を丁寧に取っています

庭には、黒木が十数本あり、定期的に就業の依頼を受け、高くなった木の剪定を行っています。瓦の家と石垣との調和が地域の景観をすばらしくしています。金城さんからのご紹介で、一軒、更にもう一軒と、受注が広がっています。

依頼を受けた方からは、松の剪定期や樹木の剪定方法、肥料の与え方などの相談を受けるなど、庭造りのアドバイスをすることもあります。

又、庭の手入れ作業は、女性会員の細やかさが効果を発揮しています。石の間から出てくる草を丁寧に抜いたり、松の葉を掃きだしたりします。

女性会員の中には、造園会社に勤めていた方もいて、就業にいった場所が、偶然にも以前に自分が芝生を植えた場所に出

通信 第6号

平成20年 10月25日発行

編集発行 南城市シルバー人材センター TEL098-852-6655

会員数 (10月1日現在)

125人

受注件数 (9月分)

27件

受注金額 (9月分)

1,704,207円

就業人日 (9月分)

364人日

事務局だより

十月からシルバー人材センターの嘱託員で働いている多和田真平です。

歳は、まだ十九歳でシルバーの会員さんたちに比べれば、知識も経験もない新人ですが、ここ南城市シルバー人材センターで、多くの会員さんたちと、様々な仕事に積極的に取り組み、いろいろな経験をして、心身ともに充実した大人になるのが、僕の目標です。

少しでも早く皆様に追いつけるように頑張りますので、これからもよろしくお願ひします。

仕事百景

バス運転手



▲今日も安全運転

「前輪よし・後輪よし・エンジンよし」と、出発一時間前にバスの安全チェックを行うバス運転手の会員さん。

学校の校外活動では、バス運転手の確保が必要です。バス運行歴四十年を誇るベテラン運転手の会員が、市や学校等の依頼で、安全運行の就業を行っています。



▲剪定後は、このとおり

会員さん登場



照喜名君江さん (知念)

シルバーの良いところは、仲間と一緒に働くことです。特に就業後に仲間と語るときは、時間を忘れてしまいます。

海岸のゴミ拾いをしてはいますが、散歩をしている方からよく声をかけてもらいます。この前は、少し伸びていた木をノコギリで切っていたら、通行人の方にノコギリの使い方アドバイスをいただきました。

多くの方と触れ合うシルバーで、足腰が立つまでは、続けていくつもりです。みなさん、シルバー会員を見かけましたら応援よろしくお願ひします。